

いわ信のある風景

湯本支店

かつては湯本信用組合の本店でした。平成十三年の旧つばさ信細との合併後は、湯長合支店を統合して、現在の湯本支店となりました。同地区の金融機関が並び一角の中で、平日の午後五時まで相談窓口を設けています（H）




 いいひと、いいまち、いいくらし。
いわき信用組合
 ■編集＝「はまかぜ」編集委員会
 ■発行＝いわき信用組合
 いわき市小名浜花畑町2-5
 電話 0246-92-4111

いわ信が「拠点」に

地域力連携拠点事業始まる

中小企業が抱える諸問題に対してキメ細かな支援活動を行う、「地域力連携拠点事業」が五月、経済産業省から発表、全国で三百六十六機関が採択されました。県内では七拠点が選定、金融機関では当いわき信用組合が唯一「拠点」として採択、平成二十年度から三年間、



初会合の席上、4信組の関係者を前に挨拶する江尻理事長

会津商工、相双、福島県商工の県下三信用組合と共同で地域の小規模事業所の経営支援に取り組むことになりました。

国内企業の大半は、中小企業。それぞれが各分野で力を発揮しているものの、「課題が見えない」「新しいことに挑戦したい」「事業の継続に不安がある」などといった悩みを抱えている小規模事業所も少なくありません。

こうした現状を踏まえ、経産省では①経営力の向上②創業・再チャレンジ③事業承継などの課題に対応、支援することによって、「小規模企業などが中期的に発展するための経営基盤の強化を図り、また、地域における中小企

業支援機関などの機能強化に資する」などを目的とし、今年の四月から「連携拠点」となる商工会議所、金融機関などを募集。

全国で三百六十六機関

全国で採択された三百六十六の機関は、商工会、商工会議所、中小企業団体中央会、信組、地銀・信金の地域金融機関など。さらに、五百の地域金融機関、二千を超す機関・団体もそれら連携拠点の「パートナー」として登録。

併せて、経営上の課題解決に向けた戦略の立案を支援するコーディネーター（中小企業診断士、税理士、経営指導員など）もそれぞれ選任されました。

（2面に続く）

4信組で初の会合開く

「我々の手でぜひ、活性化を」

「拠点」となった、いわき信用組合では、福島県商工、会津商工、相双商工の三信用組合とともに、中小企業団体中央会などの十三団体・機関と連携していくことになり、詳細などについて協議する四信組の代表が出席しての初会合が五月三十日、いわき信組で開かれました。

コーディネーター 2人に委嘱状交付

甘利明経産省大臣による同拠点事業に関するDVDを全員で見たと、江尻理事長が挨拶に立ち、「四つの信組が一致

に、江尻理事長から委嘱状が交付されました。今後の主な事業としては、県下六十余店に相談窓口を開設して、利用者が気軽に相談できる体制を整備していきます。同時に、小規模事業所の支援ニーズを把握するため、アンケートを実施し、具体的な指導などについては、佐藤さんらコーディネーターが職員に同行して諸問題に対応していくことを申し合わせました。

今後の事業の具体案などについて協議した会合

「引き続き、コーディネーターの佐藤直美さん（中小企業診断士）と、結城幸次さん（同）の二人



第60期通常総代会開く

当期利益2億7,700万を計上

第六十期通常総代会が、去る六月二十日午後一時半から、小名浜の「ニューうおしん」で開催されました。

鈴木丈夫専務理事の開会の挨拶に続き、江尻理事長が挨拶し、「平成十九年度のわが国の経済は、原油価格、並びに鉄鋼・穀物類等の原材料の高騰、サブプライムローン問題を発信源とした、株価下落、為替変動等の影響により、景気の踊り場を迎え、企業規模・地域間で格差が広がりを見せており、とりわけ、地域経済の基盤を支える、私も信用組合の主たる取引先である中小零細事業者・勤労者の業況並びに生活環境は、依然にも増して厳しい状況にある。このような状況下にあつて、当

組合は資産の健全化を推し進め、個人ローンの推進と預かり資産の増強を図った結果、損益については、二億七千七百万円の当期利益を計上することができ、財務の健全性を示す基本指標である自己資本比率（国内基準四%以上）は、七二・四%となった」と、報告しました。

また、「平成二十年度は、当組合も創立六十周年を迎えることとなり、折しも地域活性化を主たる目的とする地域力連携拠点に、県内金融機関で唯一、私共いわき信用組合が採択されたが、地元金融機関の『いわしん』であればこそ出来る、との自負心もあり、私共がこの事業を積極的に推進することが、地域の活性化につながるものと信じているので、今後とも総代の皆さまには、何とぞご支援ご鞭撻を賜りたい」と、話しました。

次に、平成十九年度の事業報告に移り、当組合の業績は期末預金残高千三百四十二億二千五百万円（前期比三十億三千七百万円増）、期末貸出金については、期末残高



通常総代会で現況や新年度の方針などを話す江尻理事長

九百七十七億九千万円（前期比二十二億五千万円増）との報告がありました。

続いて、平成十九年度剰余金処分案、並びに同二十年度事業計画及び収支予算案など四議案について審議され、承認されました。

全議案の審議が終了し、最後に鶴岡利明常務理事が挨拶し「当組合が創立六十周年を迎えることが出来たのも、総代の皆さまのご指導、ご協力の賜物であると感謝しています。これからも真の地域金融機関として、役員一同、未来永劫尽きることなく邁進していきたい」と述べ、閉会しました。

5期連続で下降傾向続く

サービス、製造業は「悪化」

当信用組合が実施している「いわしん景況予測調査」のうち、「一〜三月期」（第4四半期）の結果がこのほど、まとまりました。一昨年からの「地域事業者の参考に」と、四半期ごとに進め、発表しており、今回で七回目。併せて、前期との比較、次期の見通し、予測のデータも以下の通りとなりました。

「一〜三月期」の景況感を詳細にみると、予測値は前回（マイナス一三・二％）とほぼ同値、実績一三・一％で、「下降」超マイナスイメージが色濃く反映して見えました。

不動産業、上昇へ

このうち、不動産業では「上昇」の幅拡大、「下降」の幅縮小とし、予測同値としたIT関連とともに、DI値プラスを示していました。運輸・交通業、卸・小売業は「上昇」幅拡大とし、DI値マイナスながら改善とする一方、サービス業では「下降」幅拡大となっています。

総合判断

景況DIは五期連続マイナスで、下降傾向が続いています。実績景況判断は、後退感を反映、「上昇」の幅は縮小傾向で、「下降」の幅もわずかながら縮小。また、「変わらない」とする幅も増加傾向にあり、「先行き」に対する停滞感、後退感を色濃く反映して見えました。

また、製造業では「上昇」幅縮小、「下降」幅を拡大。その結果、「下降」超マイナスを広げ、「悪化」となりました。

次期、四〜六月期の予測をみると、不動産業が唯一、予測DI値プラスとして好調を維持、運輸・交通業、IT関連でゼロ値、その他四業種の予測値はマイナス、製造業はわずかながら上方改善の傾向にあります。

これらを踏まえ、総体的には「上昇」「下降」の幅とも、わずかながら「変わらない」幅が拡大傾向でした。しかし、相対的にはほぼ横ばいで、停滞感を反映した結果となっていました。

調査方法の概要	
・調査時期	平成20年3月下旬
・調査対象期間	実績「1〜3月期」 見通し・予測「4〜6月期」「7〜9月期」
・調査方法	アンケート紙法
・調査対象先	いわき市内・楕葉地区の事業者（434先）
・回答先数	427先（回答率98.39%）

新 企業診断士が診る ⑪

組織開発のポイントどころ

前回の話で、「戦略」とは「自社の五年から十年後の生存を確実にさせる政策のこと」と定義しました。ロマンやビジョンと言ってもいいのですが、経営環境の変化を見据えて、どんなリスクが発生しても自社は生き残る、勝ち残る施策と、お話ししました。

まず現在であれば、二〇二〇年につながる組織開発対策を最優先しましょう！

「二年先も不確実なのに」と反論されるでしょうが、そんなことを言っていたら危険です。経営トップ、経営幹部の皆さんの十年以上先の年齢を考えてみてください。少なくとも今から、後継・承継を見据えて組織開発をすべきです。そして、五年後、十年後のあり方を、全社員に明示できるようにすべきです。

社員の勤労意欲は「希望と夢」があるかないかで全く違うのです。そのための「教育対策優先」の「採用」と「配転」ができる組

織を作るべきです。一人ひとりの能力向上・挑戦課題と、それを成し遂げる方法とが理解できていないと、努力は空回りします。

組織開発で重要な勘所は、「教わる」「調べる」「体験する」「実験する」「質問する」ことが可能な仕組みを作ることなのです。トップ・マネジメントは、年ごとの新しい積極的提案ができるべきです。

観念論のように思われるでしょうが、マネジメントの本質的素養は、①へこたれるな！②繰り返せ！③明瞭な理由づけをせよ！④「現場」で部分実験をしてから提案せよ！（空理空論・机上の空論は厳禁！）です。

だから、組織開発の主眼にマネジメント能力を当てるのです。そうするとその決め手は、「企業において勉強不足の人が多いため、理論武装をさせよ！」とか、「実情を見ている人が多いため、視察研修を必ずせよ！」などの切実な問題を解決することに他ならないことがわかります。

運営評価を明確に

トップ・マネジメントのポイントは、Operation（運営）の評価方法を明確にすることです。

- ①結果をまず問題にしよう！それも数字で！次いでそのプロセス（過程）を問題に！②我が社は「成熟した」と思うな、方法が「硬直化」しただけだ！③常に幹部・管理者の能力向上を重視しよう！④ミーティングをもっと充実させ

中小企業診断士

藤本 匡弘
(ふじもとまさひろ)
プロフィール

昭和26年生まれ。富士通などを経て、昭和62年、いわき経営コンサルタント事務所設立。同63年、アイ・エム・シー代表取締役就任。中小企業診断士(商業部門)、情報処理システム監査技術者の資格を取得

よ！所要時間よりも方法が問題だ！⑤「こうすれば必ずこうなる」という数字変化の実験結果(事実の因果関係)を提示し、その方法(過程)を信頼できるムードを作ろう！となります。

経営戦略展開の原則は、①一番主義：二流主義はダメ！その商品分野でまず一番になる！②集中主義(専業主義)：分散・多角主義もダメ！一つだけ脇目も振らず、金も人も時間も集中しよう！③先制主義：対抗主義はトンド死だ！④経験主義：発明主義はマスターベーション！先例を学んでそれを見習おう！⑤ビジョン主義：宿命限界認識主義ならもうやめよう！十年後のあるべき形を想定してすべての努力をそこに結びつけよう！本業に関係のないことはしない！⑥傾斜経営：「根性」+「冒険」は博打(ばくち)ではない！です。

以上のポイントどころが、二〇二〇年につながる組織開発対策の最優先課題なのです。

■ 終わり

いわ信 特派員だより



●いわき市平豊間字兎渡路 244
 ★営業時間=昼 11:00 ~ 15:00
 夜 17:00 ~ 20:00
 ★定休日=水曜日
 ★電話= 0246 - 55 - 6908



(江名支店・佐藤圭一特派員)

ブル席の個室になっていきます。
 ■：店は、坂本さん、妻の清子さん、息子さんと夫婦の四人で切り盛りし、気さくにお客さまを迎えています。メニューは、地元の魚介類をメインに作った、刺身膳、天ぷら膳、うなぎなど十五種類。このほかご予算に応じた「おまかせ」コースもあります。
 ■：清子さんのおすすめは、「月ごとにメニューが変わる、基四季膳(要予約)。刺身、焼き物、煮物など、ボリュームたっぷりの会席です」と、話しています。



「風船爆弾覚書」を手にする神谷支店長

昨年十月、勿来支店内に「勿来の歴史」コーナーが設置されました。同コーナーには小冊子『風船爆弾覚書』が置かれ、お客さまに好評です。これまでに多くのお客さまが、閲覧や、持ち帰っています。
 『風船爆弾覚書』は、神谷支店長の高校時代の担任だった、小豆畑裕繁さんが、平成十二年五月にまとめました。
 「昭和十九〜二十年当時、風船



風船爆弾覚書 勿来支店 神谷金重さん

爆弾の放球基地が日本国内に三カ所あり、その一つが勿来であった」との文で始まる同冊子は、「風船爆弾とはどのようなものか?」「基地選定の理由」「飛翔を見た人の感想」「飛翔路とアメリカの反応」などが、四十ページにわたり、書きつづられています。
 小豆畑さんは、「風船爆弾を知らない人も多くなっている。三カ所所唯一、当時のままの原形をどどめている勿来基地を保存したい」との思いからこの同冊子を作りました。

「昨年夏、先生から覚書を送っていただき、正直、見てビックリしました。これはぜひ、地域のお客さまにも見てもらいたいと思いい、設置することにしました」と、初めて同冊子を見たときの感想を、神谷支店長は話しています。

昔懐かしむお客さまも

同冊子を手にしたお客さまの中には、当時を振り返り、「幼いころに、風船がいくつも飛んでいくのを見た」「汽車に乗っていると左側(上り方面)の窓が見えないようになっていた」などと話す人もいます。

神谷支店長は、「コーナー設置後、写真を撮り、小豆畑先生に郵送しました。先生も大変喜んでくださって」と話し、「支店内で情報公開や、作品展などを行うことは、お客さまとのコミュニケーション作りにも役立ちますので、ぜひこれからも続けていきたいです」と、意欲を話していました。

今年、七月に洞爺湖サミットが開かれます。そこで議題に上げられているテーマの一つが、「地球温暖化防止策」です。
 各企業、各家庭でも、温暖化の

クールビズへ ノーネクタイと ノーリボン実施

原因の一つ、二酸化炭素(CO₂)を減らすため、積極的に活動していますが、当組合でも、六月二十三日から「クールビズ」を取り入れました。

取り組み内容は、まず、「冷房の温度を二八度に設定します」。ご来店のお客さまには、少々暑いと感じられるかもしれませんが、ご協力をお願いいたします。
 第二に、「男性職員はノーネクタイ、女性職員はノーリボンを実践します」。首周りを開けることで、体感温度が低下すると言われています。少しでも爽やかな笑顔で応対できるように心がけます。
 今後も、地球環境に優しい企業を目指し、取り組んで参りますので、ご理解のほど、よろしくお願ひします。

基(もとい)ー四季庵ー

数寄屋造りに改装

■：昭和五十年六月、相馬市で「基本に忠実」をモットーに、素材をいかした料理を提供する、スタンド割烹「基」を開店。その後、「どなたにも和食の味わいを提供したい」と、同五十四年、店主の坂本光生さん

の実家がある、現在地に移転し、「和食レストラン 基」をオープンしました。
 ■：昨年七月には、坂本さんが長年思い描いていた「茶室のある数寄屋造り」に全面改装。店名も「基 四季庵」としました。店の入り口には、日本庭園が広がり、店内は、ゆったり過ごせるよう、全室がテー

ノーネクタイで対応する男性職員



60周年記念 「感謝還謝」 第2弾を発売中

9月30日まで

この七月三十一日で当組合は、創立六十周年を迎えます。昨年十二月には「満六十歳」を記念し、日頃のご愛顧に感謝した、



募集総額三十億円、三年もので利率一・〇%の特別（プレミアム）金利定期預金「感謝還謝（かんしゃかんしゃ）」Ⅱ写真Ⅱを発売。好評のうちに完売いたしました。預入いただいたお客さまへは、いわきの海をイメージしたデザイン「60周年記念定期預金証書」を発行し、こちらも好評をいただき

きました。多くのお客さまの好評を受け、現在、「感謝還謝」第二弾として組合員様限定で九月三十日までの期間、発売しております。募集総額は五十億円、期間は二年、三年、五年で、それぞれ〇・七%、一・〇%、一・二%の特別金利が付ききます。お預け入れ金額は十万元以上三百万円まで一万円単位となっており、個人・新規契約に限られません。なお、募集総額に達した場合は、期間中であっても締め切りとさせていただきます。詳しくは各店窓口でお尋ねください。

各種ローン新商品が誕生

当組合では、事業主のお客さまなどへ向けた、各種ローン新商品を販売しております。

種類は低金利・大口型

「いわしんカードローンVIP60」は、当組合とお取り引きのある事業主・会社役員のお客さま、お取り引きのない公務員・会社員で役職付きの人が対象の低金利・

大口型カードローンⅡ写真上Ⅱです。

最高ご融資限度額は三百万円（要審査）。基準金利は七・〇%で、お申し込み人さまの給与、または公的年金のお振り込みがある場合、金利が〇・二%引き下がります（最優遇金利六・八%）。

「県中小企業家同友会活性化資金」Ⅱ写真下Ⅱは、同会と県信用組合協会の提携ローンで、同会会員の皆さまの円滑な事業推進をご支援するものです。

お申し込みいただけるのは、同会加盟の法人・個人事業主会員。ご融資対象は、事業に必要な運転資金・設備資金です。



ご融資限度額は、運転資金が二千万円、設備資金は一億円。当組合所定金利から、同会入会後一年以上経過している場合は〇・二%、経営指針を策定している場合は〇・四%、金利が優遇されます。期間は運転資金が七年以内、設備資金は二十年以内です。両商品の詳細、お申し込み方法は、各店窓口でお問い合わせください。

窓

生き活き

「振り込め詐欺」への対応

手すぎて、あやうくだまされそうだった。金融機関に勤めている自分できえそうなんだから、普通に生活している親御さんたちは、大切な子供からの一大事の電話だ、私が何とかしてあげなくてはと、私に「だまされかねない」と話していました。

支店内でも、振り込め詐欺について、朝礼や会議等で、防止策についての話し合いを持ちたりしています。その中で、私たち窓口係としては、お客さまが窓口に入らっしゃって高額振り込みを依頼するような場合で、何か様子がおかしいと感じた時は、次席者や支店長に報告し、お客さまにお話を伺い、家族に確認を取る、といった手順を取ることにより、少しでも未然防止につなげたいと考えています。

窓口でぜひ相談を

しかし、頭では分かっていますが、窓口で普通に振り込みを受け付けてしまい、後になって「そういえば来店された時、いつもとお客さまの様子が違っていた」といった事にならないよう、お客さまとのコミュニケーションを良くし、もしそのような電話があり、うっかりだまされそうになっても、「窓口のあなたに相談に乗ってもらってからにしよう」と思っていただけけるような、信頼関係を築いていきたいです。

その前に、振り込め詐欺などの「人をだまそうとする犯罪」がなくなればよいのですが…。(一)

内容は巧妙・複雑化

ある日、支店長あてに掛かってきた電話。振り込め詐欺ではありませんが、詐欺まがいの電話だったようで、「相手の話が上

新聞を開くと毎日のように、「振り込め詐欺」の記事が載っています。息子になりすまし、事故を起こしてしまったので示談金としてお金を振り込んでほしいとか、会社のお金を使い込んでしまい、すぐに返さないとクビになってしまふとか、年金や保険料を還付するからATMに行つてほしいとか、もつともな話でだましてしまふようです。

幸い、私の支店では起こってはいませんが、内容が以前と比べて、巧妙・複雑になってきていますので、いつ起きてしまふか分かりません。



創業時も、新たな 出店時も親切対応

「昭和三十〜四十年代ごろ、先代だった母は、魚の仲買人をする傍ら、自宅前でゆでガニを売っていました。それが好評で、店を建てることになりました」と話すのは、同店の三浦清社長。

同五十年五月、小名浜字小屋ノ内に「丸克商店」第一号店（本店）を開店。当時は、同四十一年に常磐ハワイアンセンターがオープン

いわき七浜料理 まるかつ 三浦 清さん

◆住所：いわき市小名浜字辰巳町43-1
いわき・ら・ら・ミュウ2階
◆電話：0246-73-0344



「もう50年来のお付き合いで、本当に助かっているよ」と話す、三浦さんと同店の吉田敬子店長

し、市内の観光事業が一気に盛んになっていった頃でした。そこで同店は、観光客をターゲットに、鮮魚、干物、乾物の土産（みやげ）物を取りそろえ、後に、顧客ニーズに合わせた、レストラン「まるかつ」も開店しました。

平成九年七月、いわき・ら・ら・ミュウが開館すると同時に、売店とレストランを出店。昨年十月には、レストランの客席を九十席から四百席に大幅拡大。多くの観光客が訪れています。

メニューは、海の幸を使った、井（どんぶり）や定食が中心の約四十種。限定販売の海鮮丼は人気です。

「いわ信さんとは、先代からのお付き合いで、もう五十年以上になるかな。創業のときも、改装のときも、新たな出店のときも、いつも親切に対応してくれて、本当に助かっているよ」と、話していました。

小名浜支店

◆住所 いわき市小名浜字中明神町10
◆電話 0246-54-5111



「当組合にしか出来ないことを追求しています」と話す下山田支店長（後列中央）と、職員一同

いわ信・店舗めぐり

18

お客さまの問題 解消の手伝いも

同支店（下山田省吾支店長）は、昭和三十三年九月、当組合の二番目の店舗として、小名浜上明神町に開設。その後、同四十八年四月



小名浜支店外観

に現在地へ移転しました。現在は、本店営業部の兼務店舗として、男女各三人の計六人で、主に個人向けの業務を行っています。長くこの地で営業していること

編集後記

今年五月に「ミャンマーのサイクロンによる被害、中国四川省での大地震と続き、何か異常を感じていたところ、日本でも六月に岩手・宮城内陸地震が発生。果たして、これらは地球温暖化のせいなのでしょうか。当組合もCO₂（二酸化炭素）

削減による、地球温暖化防止に呼応し、六月二十三日より「クールビズ」を実践しております。エアコンの設定温度は二八度とし、男子はノーネクタイ、女子もリボンを外して対応しております。

ご来店の皆さまにも、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。



下山田支店長は、「他行の閉鎖などで、不便を感じているお客さまも多く、そういったお客さまの問題解消のお手伝いをするのも、私たちの役割。当組合にしか出来ないことを追求していきます」と話していました。